

視 察 報 告 書

報告者氏名：はまのまさひろ

委員会名：都市整備常任委員会

期 間：2018年10月31日（水）～11月2日（金）

視察都市等及び視察項目

- ・尾道市：サイクリングポートみなとオアシス尾道・みなとオアシス瀬戸田について
- ・福山市：道路不具合通報アプリ「パ撮ローズ」について
- ・神戸市：ヴィッセル神戸練習場「いぶきの森球技場」について

所 感 等

〈尾道市：サイクリングポートみなとオアシス尾道・みなとオアシス瀬戸田について〉建設部港湾振興課

尾道駅を降り、初めの目的場所のU2へ歩いている途中、「日本一周挑戦中」と大きく書いたダンボールを後ろに付けた自転車が颯爽と走り去っていった。今では一番目立つサイクルアクセサリパーツである。

さて、U2のウッドデッキのテラスにて、U2やサイクリングポート、海の駅の建設経緯、尾道水道の歴史、まちなみ景観の取り組み、しまなみ海道広域観光圏の連携等の事前説明をいただいた後、整備された海岸通りをウォーキングで視察しながら、終点市役所に向かい出発しました。

ポートウォーク（2192㎡）、転落防止柵（579m）、石張り舗装（680㎡）、植栽設備（374㎡）等は、西御所県営上屋2号（延床面積2019㎡の荷さばき施設）周辺整備事業として、平成22年度～24年度にかけて観光資源基盤整備事業、港湾環境整備事業等を活用し、事業費2億7千万円で整備。維持管理費は平成28年度実績として、清掃委託、植樹帯管理、光熱水費で約142万円。ポートウォークのデッキは広島県産檜材を使用し、上屋北側の石張舗装に尾道市の歴史を刻印した。これらは、国土交通省所管の効果促進事業の一環である。

U2、U2って何だ！ であるが、前記の県営上屋2号（昭和18年建造、鉄筋コンクリート造平屋建て）を、尾道の魅力、地域情報、観光情報の発信等によるにぎわい創出を目的とし、平成25年度事業費3億円をかけて港湾施設の目的外使用として改築。主軸は自転車を部屋まで持ち込めるサイクリスト専用のホテル（一般の宿泊も可）、宿泊施設とは別

にレトロ感溢れる倉庫の中に、サイクリストが唸る「GIANTストア」、レストラン、カウンターバー、カフェ、ベーカリー、雑貨店等のショップが入る複合施設で、尾道の観光スポットであることは間違いない。



さて、ウォーキング視察に戻りますが、海岸通り途中から

これもレトロ感がビンビン伝わるアーケード商店街に入りました。古き良き時代の面影の中に、旧店、新店、シャッターが入り乱れて混在する姿は、我々も含めた地方の現実。店と店との間の長い狭い路地を通らせていただきましたが、その古い建物には、1階は割烹着姿の店員さんが調理接客するレトロ店、2階は共同使用の宿泊施設で、他課の所管ですが、空き家（空き物件）対策事業でNPO法人が運営しているそうです。

しかし、このような昭和の活気ある時代の舞台となった商店街を歩いていると、懐かしいという感情だけでなく、なぜか湧き上がる少し熱い気持ちは何なのでしょう？ 賑わっていた頃が浮かんでくるのはなぜなのでしょう？ それはともかくとして、商店街を通り抜け、ロープウェイに乗り千光寺公園の展望台から尾道を一望すれば、目指す「まちづくり」のコンセプトがはっきり見えてくる。サイクリングポートみなとオアシス尾道を滞在型の観光振興を図る拠点とし、古寺めぐり、博物館、美術館、映画資料館、ロープウェイ、展望台等々の歴史まちづくりゾーン（市街地散策）へ導き回遊性の向上を狙う。また、3つの乗り場があるフェリーで向島へ渡るのも1つのアイテムとなる。ちなみに、サイクリングで観光を楽しんでもらう施策を講じてから外国人客は3倍に増えた。

今回の視察は、本市久里浜港のみなとオアシス登録後の活用方法を探ることだが、本市ポートマーケット閉店後の倉庫を如何に有効利用するかヒントも得られた。尾道はまちづくりの一体化での港湾振興ハード整備であるのに対し、本市もエリアでのまちづくりテーマはあるものの、2つの課題の立地場所や交通環境だけを見てもエリアまちづくりでの一体化は図れないと考える。私見ですが、本市は点では素晴らしい名所を持つものの、それを線でつなげるのが非常に難しい。車、バイク、自転車で巡るなら線にもなるが、公共交通+徒歩では線は作れない。

何はともあれ、尾道のパッケージが余りにも良すぎて、真似をすることもできず、私自身は考えれば考えるほど知恵も出ず、ため息をついたり落ち込んだりして己の無能さを痛感する。事が起こらず課題が放置されることは避けたいが、財政問題等で払下げや放置が是であると判断する場合も考



えられる。久里浜みなとオアシスには創造次第で展望もあるが、ポートマーケット閉店後の活用の失敗は許されない状況に間違いはない。

まちなみ景観を重んじ、景観にそぐわない建物を市が買収して撤去したり、目立つ大きい看板や赤い看板を撤去させたり、まちづくりに奮闘する坂のまち尾道を海から観たらどうなっているのか、向島に渡って観たかった。本市もエリア別に景観を重視した施策を講じるべきである

〈福山市：道路不具合通報アプリ パ撮ローズについて〉

建設局土木部土木管理課

パトロールの「パ」、写真を撮るの「撮」、バラのまち福山の「ローズ」、を使用した『パ撮ローズ』というネーミングは実にあっぴれである。

近年、スマートフォン等から道路等の不具合を市民が直接役所にお知らせする、アプリを使った通報システムを導入する市町が増えている。

福山市の導入経費は相模原市のアプリを転用し182万円と安い。年間経費は220万円。本年4月20日から運用を開始し、10月30日現在でアプリ登録件数885人、処理済（92%）、対応中（5%）、未処理（3%）計488件である。通報内容を自由に記入はできず、市民に分かりやすい10項目に絞って選択し、写真、地図を添付し通報する。下記に福山市の導入による効果を抜粋する。

- ▶ 写真により損傷状況の詳細な把握が可能となり、応急対応等の的確な事前準備が可能となった。
- ▶ 現場の正確な位置を、パソコンの地図上で確認できるようになった。
- ▶ これらによって、より円滑で迅速な現場対応につながっている。
- ▶ 手軽に通報できることから、広く、多くの情報が寄せられている。

アプリ通報はパトランプで知らせ直ぐに確認する。また、平日業務時間外や休日で緊急を要する場合は、アプリに関係部署の連絡先一覧が掲載されているので電話で通報できる。他に導入している市町の状況からもデメリットはほとんどなく、かかる経費をどう捉えるかだけなので、土木部、上下水道局所管分に対しては、アプリ導入に期待ができる。

私自身も親切にお知らせくださる方、議員に言っておけば何とかするくらいの考えの方等々、様々な道路不具合等の連絡をいただきますが、現場に行って状況確認することまでは同じでも、アプリがあればそこからが簡単であり、議員が直接電話で通報するよりは、様々な意味合いが混ざりますが、職員へのプレッシャーも少ないのではないかと考えます。

直接的な視察項目ではありませんが、福山市には「土木常設員」設置制度たるものがありました。身分：福山市土木常設員設置規則に定められた土木常設員は、地方公務員法（昭和25年法律第261号）第3条第3項第3号に規定する特別職に属する地方公務員である。80小学校区ごとに設け、市長が委嘱する。現在280名。

初めて聞いた制度なので、つい経緯や報酬等の質問をしてしまい、新たに土木常設員の事務手引きや設置規則の追加資料をいただきました。

アプリについては前述したように、土木部、上下水道局所管分を限りとし、福山市が通報内容として絞った10項目で十分であると考えますが、欲を言って一つ加えたいのが、土木部も上下水道局もかかわる「側溝・集水柵が埋まっている」である。そこら中にありちょっと無理かな。

現状での課題は、登録数が横ばいとなり増加に向けた取組が必要。

本市が導入を検討するのであれば、真似でも積極的に賛成する。



福山市の通報内容参照

- 道路：陥没・穴ぼこがある
- ：ガードレール・柵が壊れている
 - ：カーブミラーが壊れている
 - ：道路を横断する水路蓋が壊れている
 - ：倒木があり通れない
 - ：落石がある
 - ：マンホールががたついている
- 上下水道：道路舗装の割れ目等から水が出ている
- ：水道管から水が出ている
 - ：マンホールから水が出ている

〈神戸市：ヴィッセル神戸練習場 いぶきの森球技場について〉

教育委員会事務局スポーツ体育部スポーツ体育課

横浜F・マリノスの拠点となる練習場を本市久里浜に整備することに関する視察。平成7年にヴィッセル神戸の練習場を整備、平成16～18年にかけて、天然芝グラウンド2面・人工芝グラウンド1面・クラブハウス・駐車場等を整備（費用：6億5千8百万円・土地面積：53317㎡）。日常的な維持管理は楽天ヴィッセル神戸株式会社が行う。

球技場の現場にも行っていないので、写真や図面を見てもこういうものかという感想しかない。プロ用の練習場を整備するのだからプロに任せれば良いし、完成後の市民利用や大会誘致等のこともさほど重要ではない。何よりも横浜F・マリノスの選手が気持ちよく練習ができ成果を発揮して強くなるよう、横浜DeNAベイスターズ（ファーム）も含めて、横須賀市民が応援、支援できる体制づくりが何よりも大切である。

以上、報告します。

